全国検数労連

７０９号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館５階
Tel　03(3733)5621　　Fax　03(3733)5622
メール　　roren@kensu.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

第４回　検数労連２２夏季一時金交渉　１５：００～１６：００
全 日 検：全国一人平均４３８，９４２円＋α
日検協会：有額回答未提示。今しばらく時間が欲しい。

組合は、有額回答未提示の日検協会に抗議。全日検に対しても修正を求める。

第4回22夏季一時金交渉

6月24日（金）第４回検数労連22夏季一時金交渉で、組合は両協会に対し、有額回答の提示を求め交渉を行いました。

【全日検】

有額回答提示にあたり、春闘交渉時にも説明したが、現在、コロナ感染拡大の影響やロシアのウクライナ侵攻などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている。そのような中で、22春闘では賃金回答の修正や、週休休暇の改善など労働条件の改善も行ってきた。現在、各支部で得意先を回り料金折衝をしているが、顧客も先行き不透明感があるとして料金収受も思わしくない状況である。また、円安ではあるが、半導体不足の影響もあり完成自動車などの輸出も伸びていないことから、４月・５月の収入も厳しい状況ではあるが、今夏季一時金については経営判断として回答を構築した。

【日検協会】

本日は労組指定の有額回答指定日であったが、春闘交渉の経過から協会内での賞与の調整がついておらず、現時点ではまだ回答構築にまでは至っていない。直近４月・５月の収益の悪化もあるが、従業員の努力に応えられるよう精査しているのでもう少し時間をいただきたい。

【組合主張】

組合は休憩をはさみ現時点での内容を精査。次の通りの主張を行いました。

【全日検に対して】

金額的に単純比較で昨夏比プラス回答となっており一定評価できる。

乗率部分については、昨夏比プラス回答となっており一定評価できる。

特別評価の全体配分については一定評価できる。

家族手当、地域年齢手当、都市加算が回答算式に入っておらず不満である。

アルファ回答（調整加算）については反対である。同時に長年にわたり反対表明している組合主張が受け入れられず不満である。

収支に貢献している準職員、契約雇員の全国一律回答に不満である。

要求額との関係では未達となっており、上積み修正を求める。

【日検協会に対して】

本日の有額回答指定日に回答が提示されなかったことに対して抗議する。

全国の組合員が注目し、期待している中で有額回答が示されないことは、良好な労使関係を崩しかねない性格を持ち合わせており、看過できない問題である。

要求提出以降、有額回答指定日までの間、一定の期間がありながら回答構築が出来なかったことは、例えどのような理由があろうとも『経営の努力不足』と言わざるを得ない。

次回交渉では、要求に沿った有額回答を提示するよう強く求める。

以上

【 全 日 検 有 額 回 答 】

1．支 給 額

（1）職　員

算　式　（本給＋役付）×乗率＋一律＋α

職員平均　（223,869円）×1.627＋74,707円＋α

全国一人平均 438,942円＋α

① 一　律 ＝	1年以上 5年未満	全国一律	65,000円
	10年未満		70,000円
	15年未満		75,000円
	20年未満		80,000円
	25年未満		85,000円
	25年以上		90,000円
② α ＝ 調整加算			
（2）勤続一年未満の職員	本給×2.0ヶ月		
（3）見習い職員		全国一律	80,000円
（4）準職員	半年未満	全国一律	30,000円
	1年未満		60,000円
	5年未満		80,000円
	10年未満		110,000円
	10年以上		120,000円
（5）契約雇員		全国一律	130,000円

2．支給日：２０２２年７月8日（金）
ただし、５銀行営業日前までの妥結意思表明を条件とする。

3．その他
（1）支給日当日の在籍者に対し、2022年６月１日現在の身分給与により計算し支給する。
（2）支給計算期間について
2021年11月１日～2022年４月30日
（3）その他の取扱いは、従来通りとする。

以上

※次回交渉　6月27日(月)15時～

第5回検数労連22夏季一時金交渉
引き続き有額回答および
修正回答を求めていきます。